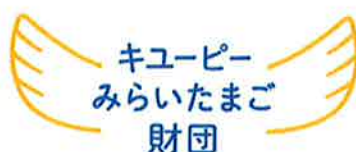


キューピーみらいたまご財団主催
子ども食堂で育む“こころとからだ”
第18回

地域の 居場所づくり サミット



講演

最新の栄養トピック カラダとココロは腸で整う

キューピーみらいたまご財団理事 東京家政大学ヒューマンライフ支援機構教授 内野 美恵 氏

事例報告①

子ども食堂で郷土料理の継承の取組み

もりやま食のまちづくりプロジェクト地産地消・食育推進チーム事務局 阿迦井 隆治 氏

事例報告②

不登校の解消、じば様（参加されているご高齢者様）の居場所にもなっている～プレーパークへ～
一般社団法人まごじば代表 千坂 真衣 氏

交流会

【テーマ】：子ども食堂で提供する食について考えよう

2026年 **5/30** 土
9:30～12:00

対象

子ども食堂運営団体
子ども食堂の支援団体
関心のある団体・個人

場所

オンライン配信

料金

無料

お申込みは
QRコード
またはリンクから



<https://forms.gle/ex5Zqk1oFZUwhz3F6>

お問い合わせ先

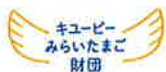
tel.03-5426-2547

一般社団法人 全国食支援活動協力会
(平日9:00～18:00)

子ども食堂で育む“こころとからだ”

第1部 9:30~11:00

助成事業説明



2026年度第II期助成事業（スタートアップ助成）について説明します。

講演「最新の栄養トピック「カラダとココロは腸で整う」



キューピーみらいたまご財団理事
東京家政大学 ヒューマンライフ支援機構 教授
内野 美恵 氏

なぜ日本人が健康で長生きなのか、その理由のひとつが最新の腸内環境に関する研究結果から示唆されました。子ども達と食事をする際に話題にしていだきたいトピックを紹介します。

事例報告①「子ども食堂で郷土料理の継承の取組み」



もりやま食のまちづくりプロジェクト 地産地消・食育推進チーム
事務局 阿迦井 隆治 氏

農水産物の生産から消費に至るまで「食と農」をテーマとして、地産地消、食育、健康の各分野における取り組みを効果的に結び付け、新たな事業展開をすることにより、地域活性化を図ることを目的としています。
湖魚を食べる取組など、地域に根差した食の継承の取組についてお話しいただきます。

事例報告②

「不登校の解消、じば様（参加されているご高齢者様）の居場所にもなっている
～プレーパークへ～」



一般社団法人まごじば
代表 千坂 真衣 氏

まごじばとは「まご、じいじ、ばあば」の意味。子どもを中心にさまざまな世代が繋がり合う、安心・安全な地域づくりをしたいという思いから23年6月に発足しました。
食を通じたじいじばあば世代とまご世代の交流の様子や、大切にしている思いなどをお話しいただきます。

第2部 11:05~12:00

交流会 テーマ：子ども食堂で提供する食について考えよう

食を通じた居場所づくりに携わる運営団体をはじめ、支援団体、企業、行政そして活動に関心をお持ちの個人の方まで、多様な立場で交流いただける場です。
互いの取り組みの紹介や、日々の活動に関する相談など、自由な情報共有を目的としています。「まずは話を聞いてみたい」という方や、活動検討中の方の聞き手としての参加も歓迎します。

サミット終了後、キューピーみらいたまご財団の助成事業に関する個別相談会を開催いたします。
参加申し込み時にお申込みいただけます。当日説明を聞かれてからもご参加いただけます。